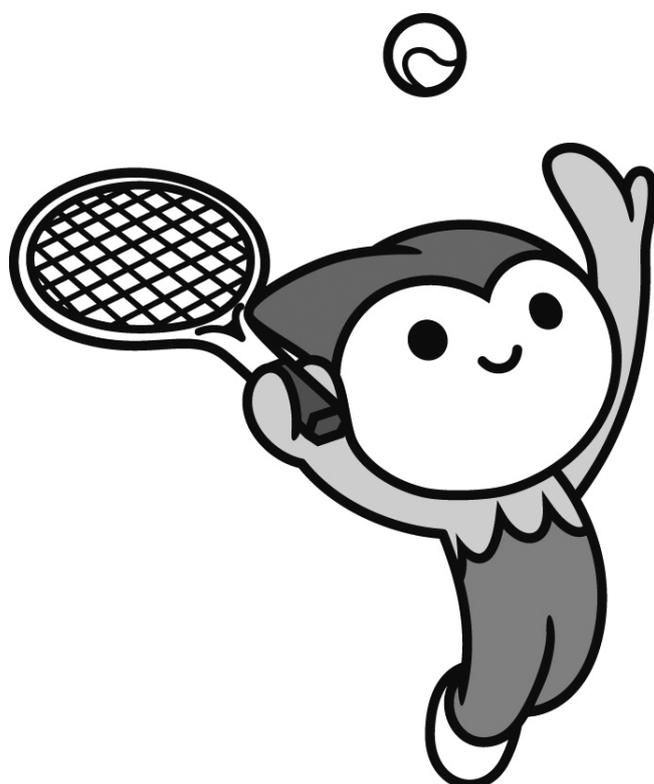


平成29年度
全国小学生テニス選手権大会 山口県予選



主催 山口県テニス協会
主管 山口県ジュニア委員会
会期 平成29年4月15日(土), 16日(日)
会場 維新百年記念公園テニス場

大会日程

日時	種 目	試合会場	試合開始
4月15日(土)	男子シングルス	維新百年記念公園 テニスコート	9:00
	女子シングルス		
4月16日(日)	前日の残り試合		前日発表

★ 受付はかならず8時30分までに行ってください。 ★

大会役員

ディレクター	川武 郷
レフェリー	村川 洋
進行	山口県ジュニア委員

諸注意・連絡事項

1. 試合方法	本戦(1R~QF)	1タイブレークセットマッチ
	本戦(SF・F・3位決定戦)、5位~8位決定戦	8ゲームズプロセット
	フィードインコンソレーション	6ゲーム先取(ノード)

※5位~8位決定はフィードインコンソレーションで決めます。

※天候、その他の事情により、試合方法を変更することがあります。

※会場を離れる(帰る)時は、本部で試合がないか確認して行動するように注意しましょう。

2. 試合前の練習はサービス4本とします。

- 遅刻に対するペナルティーなど、その他のルールはJTAルールを採用します。
- 試合はセルフジャッジです。サーバーはポイントやゲームのコールを相手に聞こえるように大きな声でして下さい。
- 選手は進行板に注意して、前の試合が終わったら直ちにコートに入って試合を行って下さい。
- 試合終了後、勝者は速やかにボールと進行板に貼ってある自分のカードを本部に届けて下さい。
- 開会式は行いません。受付は各選手が届けてください。
- 雨天などにより試合の有無が不明な場合でも、定刻には会場に集合して下さい。
- コートの外からアドバイスやジャッジに関する抗議等を一切禁止します。
選手はジュニアらしい態度で試合に臨むこと。
- 体調の悪い場合は無理して試合をやらずに勇気を持って棄権して下さい。
- 練習コートは各選手交代で練習して下さい。(8:00~8:20 / 8:20~8:35 / 8:35~8:50)
各コートのシングルスティック、スコアボードを倉庫から出して練習を始めて下さい。

12. ごみは必ず各自で持ち帰ること。

観客のみなさんへ・・・お願い

- ラインジャッジ等の判定に関して、口出しすることをお控え下さい。
- 好プレーに対しては、相手選手を問わず拍手をお願いします。
- 逆に、いずれのプレイヤーのエラーに対する拍手はご遠慮下さい。

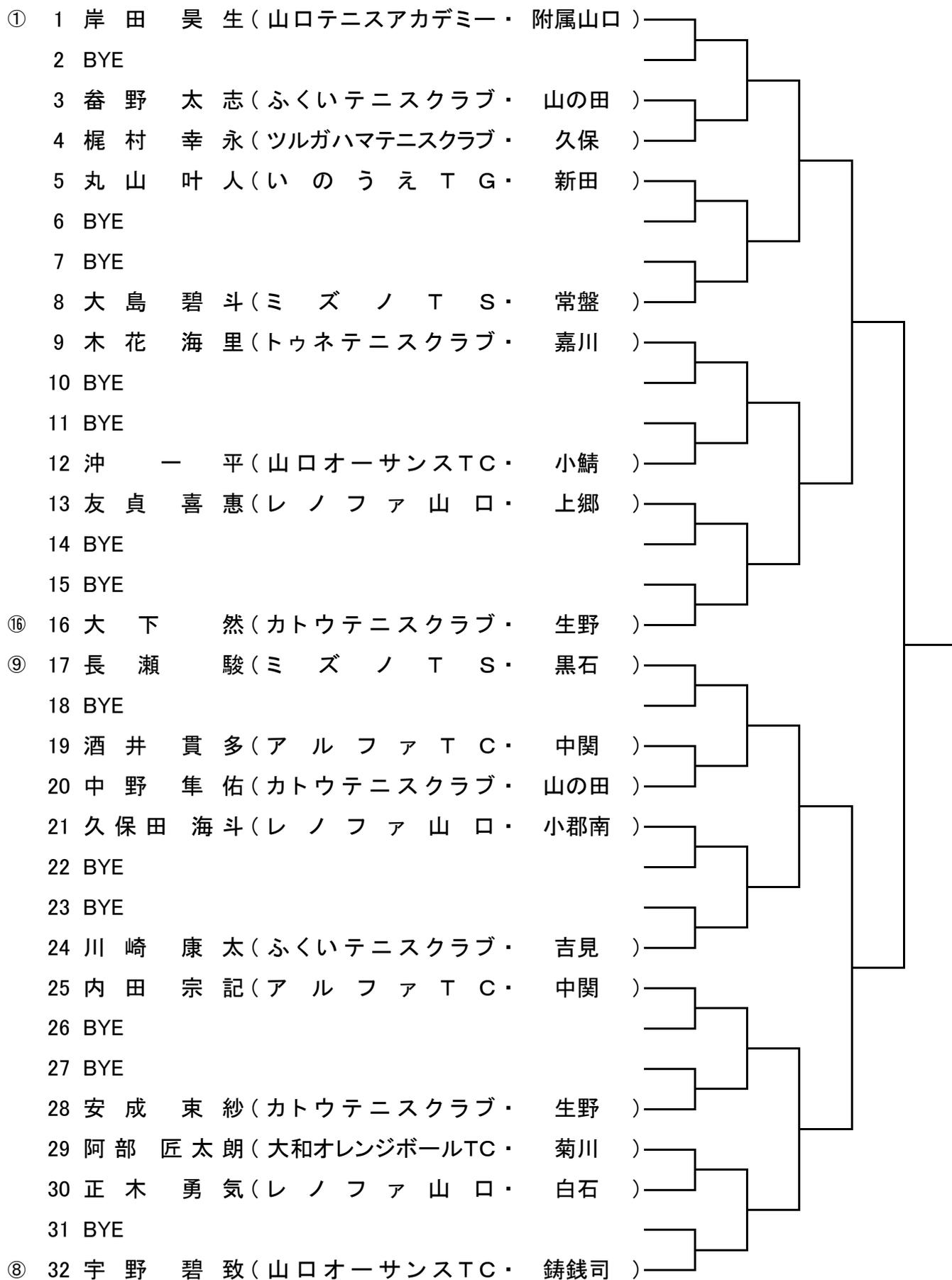
・中国大会 6月10日~11日 鳥取 出場枠 5名+α
・全国大会 7月28日~30日 東京都 第一生命相模園総合グラウンドテニスコート

全国小学生テニス選手権大会 山口県予選

男子シングルス(1)

維新百年記念公園テニス場

2017.4/15,16

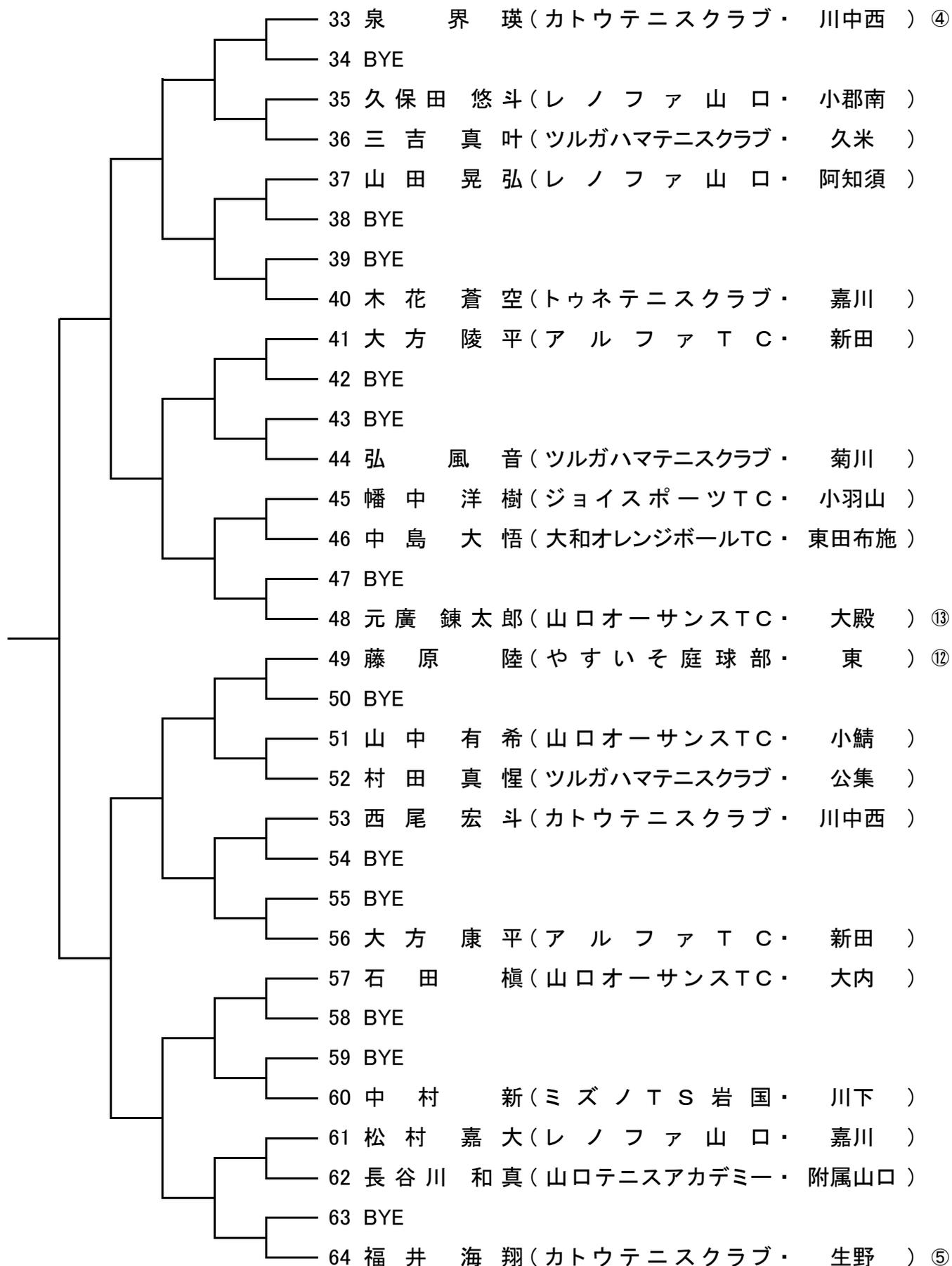


全国小学生テニス選手権大会 山口県予選

男子シングルス(2)

維新百年記念公園テニス場

2017.4/15,16



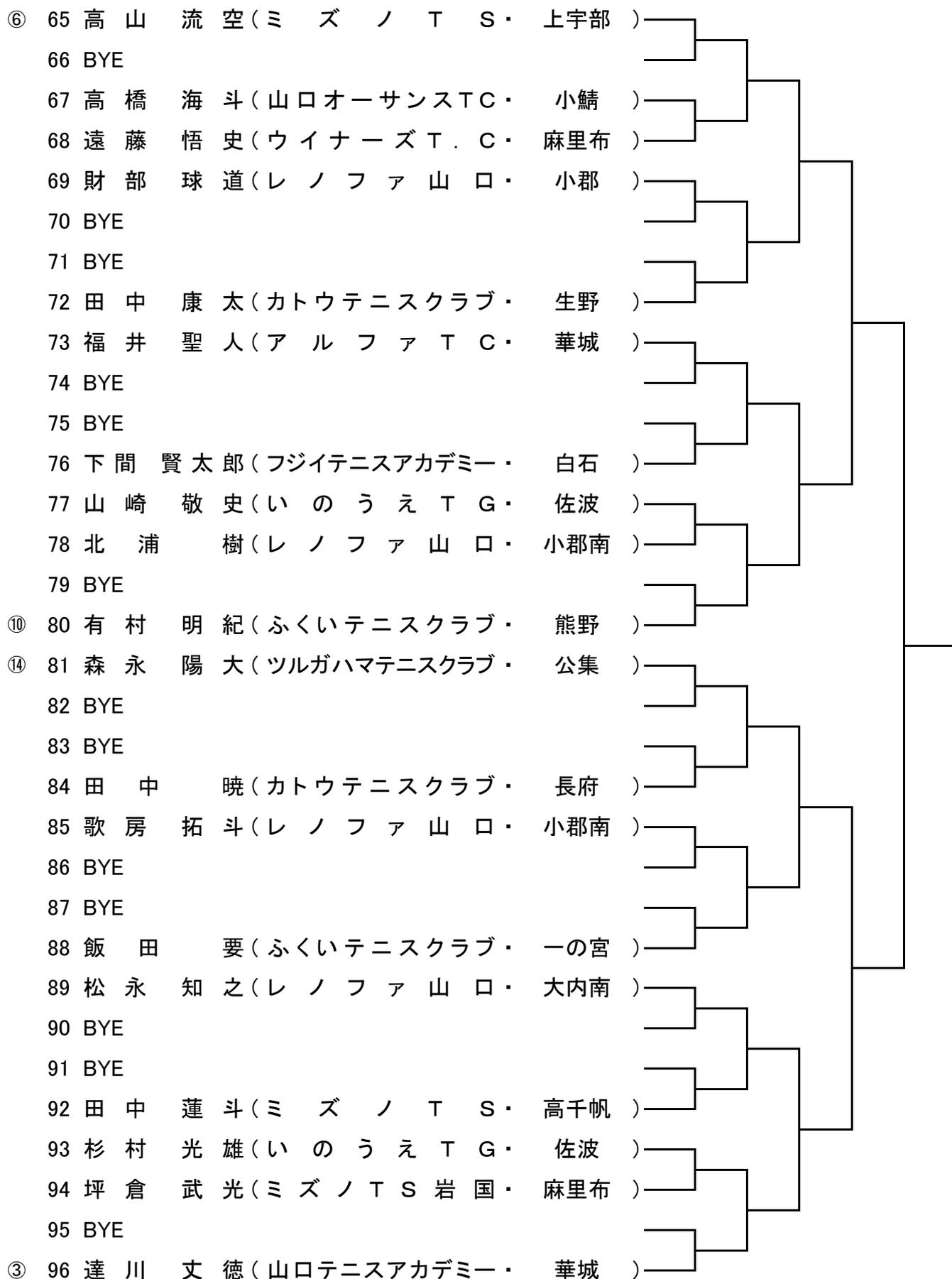
シード順位 ⑤福井 海翔⑥高山 流空⑦倉橋 昊大朗⑧宇野 碧致

全国小学生テニス選手権大会 山口県予選

男子シングルス(3)

維新百年記念公園テニス場

2017.4/15,16

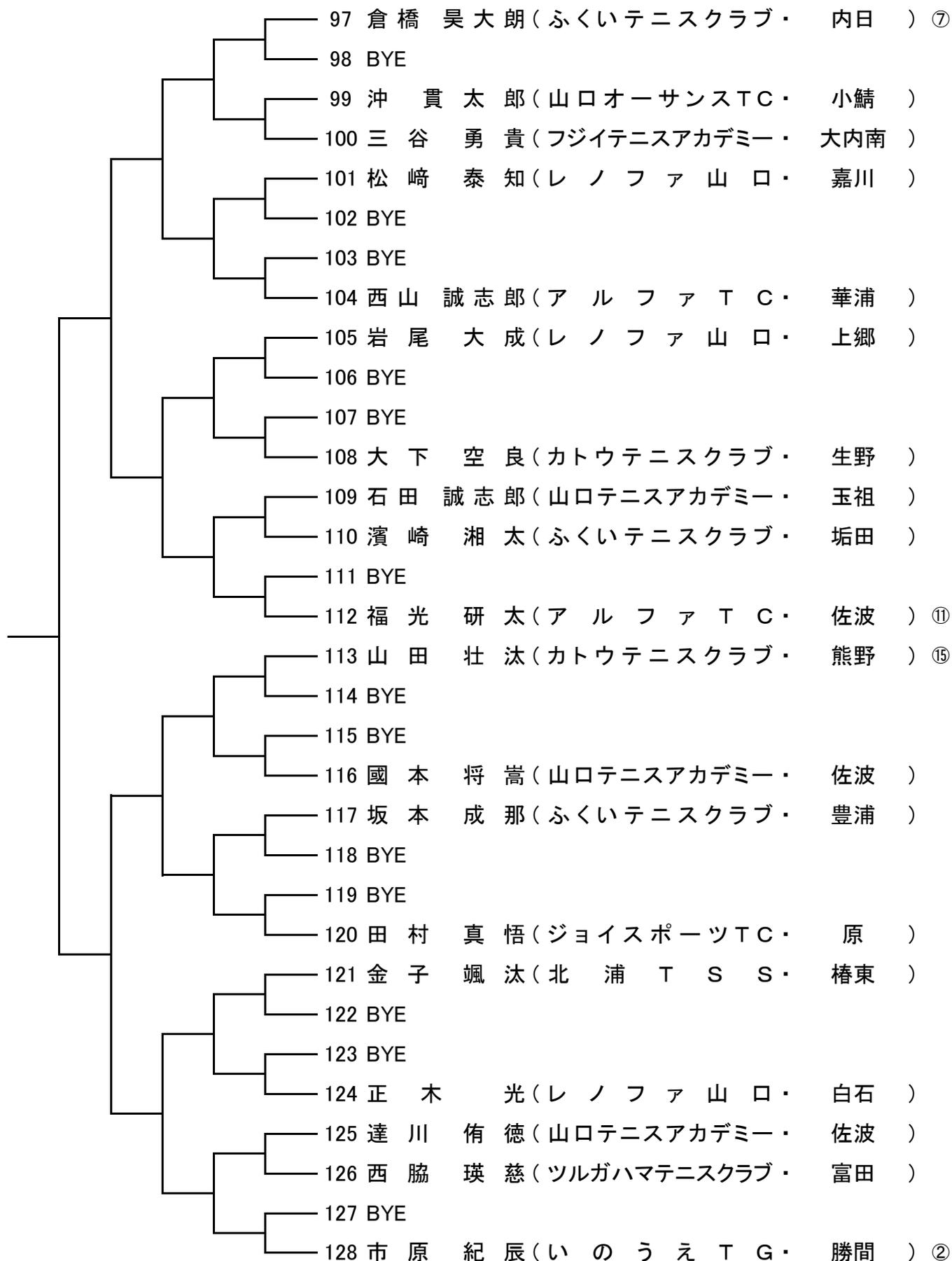


全国小学生テニス選手権大会 山口県予選

男子シングルス(4)

維新百年記念公園テニス場

2017.4/15,16



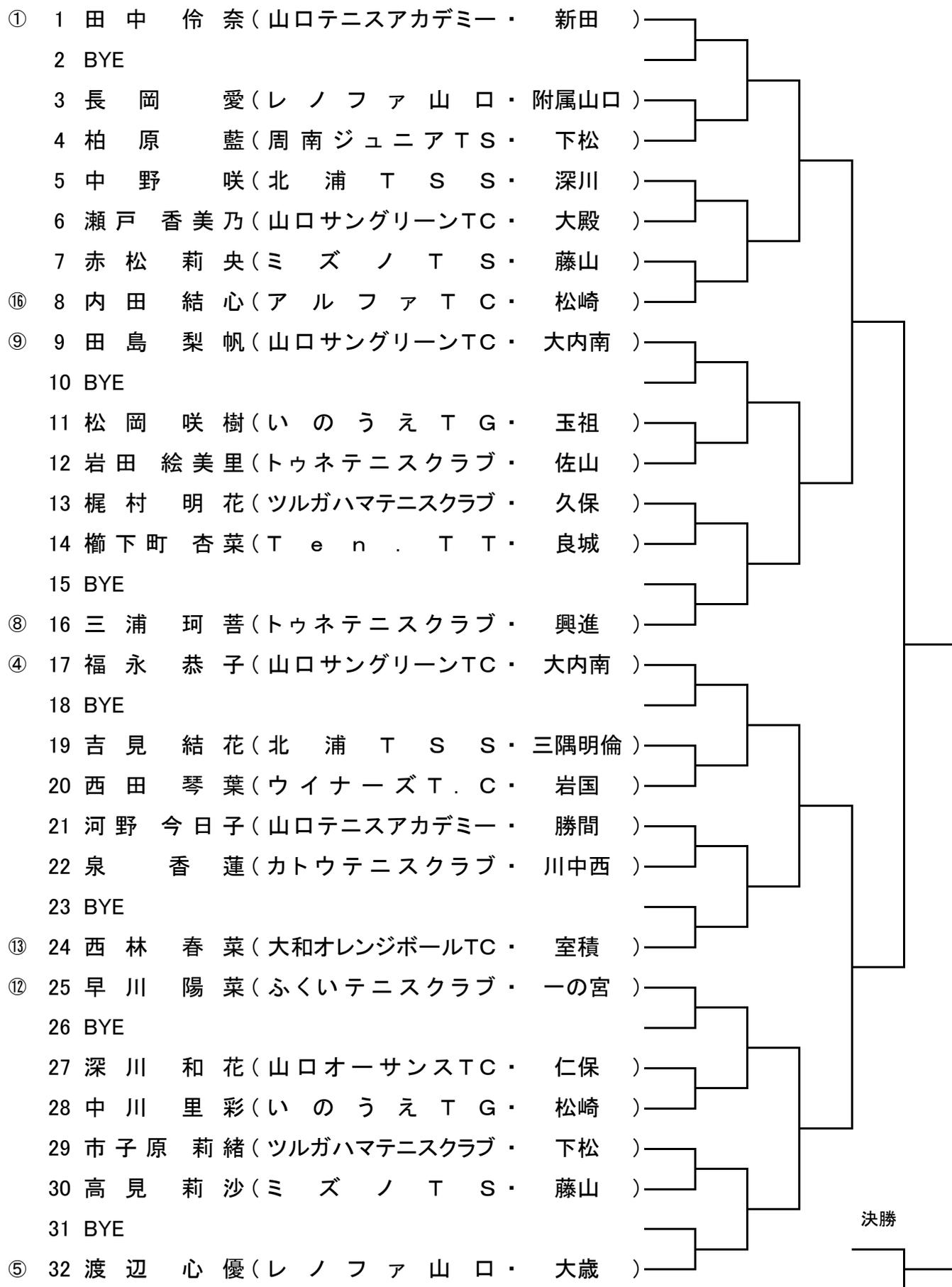
シード順位 ⑬元廣 鍊太郎⑭森永 陽大⑮山田 壮汰⑯大下 然

全国小学生テニス選手権大会 山口県予選

女子シングルス(1)

維新百年記念公園テニス場

2017.4/15,16



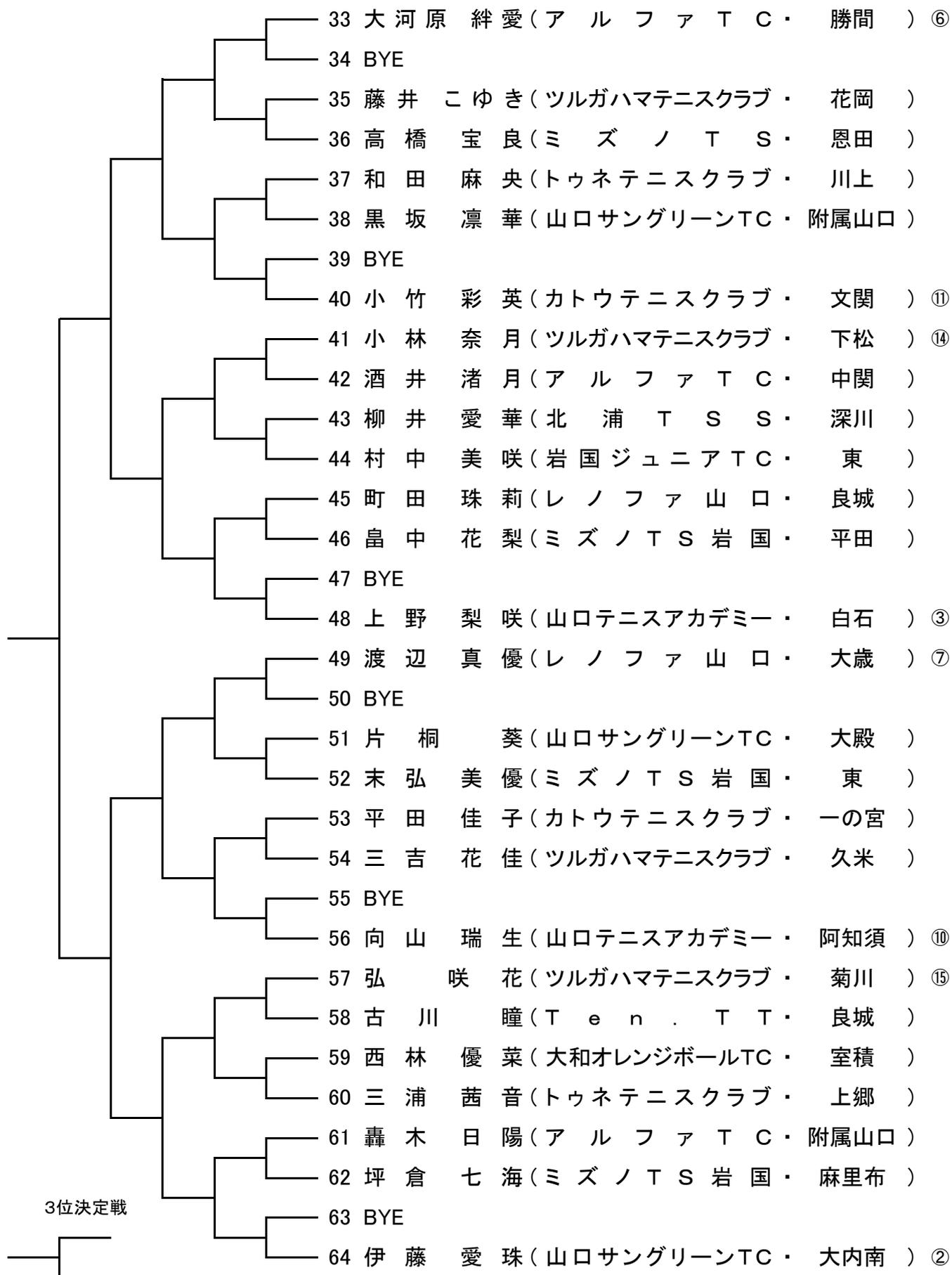
シード順位 ①田中 伶奈②伊藤 愛珠③上野 梨咲④福永 恭子⑤渡辺 心優⑥大河原 絆愛⑦渡辺 真優⑧三浦 珂菩

全国小学生テニス選手権大会 山口県予選

女子シングルス(2)

維新百年記念公園テニス場

2017.4/15,16



シード順位 ⑨田島 梨帆⑩向山 瑞生⑪小竹 彩英⑫早川 陽菜⑬西林 春菜⑭小林 奈月⑮弘 咲花⑯内田 結心

ジュニアテニス選手皆様へ
一般・ベテランテニス選手の皆様へ
指導者・保護者の皆様へ
大会主催者の皆様へ

 公益財団法人日本テニス協会

テニス競技での セルフジャッジ5原則の 順守と推進のお願い



フェアプレイはスポーツの基本です。テニスも例外ではありません。それは、第一に対戦相手をレスペクトしてプレイすることです。

残念ながら、コート内では依然様々なトラブルが絶えません。その大半はポイントの判定に起因するもので、多くのテニス大会で採用されている「チェアアンパイアがつかない試合方法（セルフジャッジ）」が適切に行われていないことが背景にあると思われます。

そこで日本テニス協会は、プレイヤーの皆様、保護者、指導者そして大会主催者の皆様に、チェアアンパイアがつかない大会で正しいセルフジャッジを目指し、次のセルフジャッジ5原則の徹底とご理解をお願いすることとしました。

セルフジャッジでは、プレイヤーの人格が試されています。



セルフジャッジ5原則

- 1 判定が難しい場合は「グッド」(相手に有利に)!
- 2 「アウト」または「フォールト」はボールとラインの間に、はっきりと空間が見えたとき!
- 3 サーバーはサーブを打つ前、レシーバーに聞こえる声でスコアをアナウンス!
- 4 ジャッジコールは、相手に聞こえる声と、相手に見えるハンドシグナルを使って速やかに!
- 5 コートの外の人、セルフジャッジへの口出しはしない!



保護者の皆様には、目前の試合の勝ち負けに一喜一憂することなく、スポーツマンシップに則ったフェアな試合がおこなわれるように、お子様への温かいご支援よろしく申し上げます。